

令和 3 年度厚生労働省補助金事業  
看護業務効率化先進事例収集・周知事業

# 看護業務の効率化先進事例アワード 2021

## 募集要項



公益社団法人日本看護協会

## 1. 趣旨

「経済財政運営と改革の基本方針 2018」(平成 30 年 6 月 15 日閣議決定)において、「人手不足の中でのサービス確保に向けた医療・介護等の分野における生産性向上を図るための取組を進める」とされたことを踏まえ、看護職がより専門性を発揮できる働き方の推進や生産性の向上、看護サービスの質の向上を図るため、看護業務の効率化に向けた取組を推進する必要がある。そこで看護業務の効率化に関する先進的な取組を募集し、その中から汎用性が高く効果のある取組を選考・表彰し、広く周知(動画、事例集の作成)する。

※「看護業務効率化先進事例収集・周知事業」は、厚生労働省の補助金事業として、公益社団法人日本看護協会が実施している。

## 2. 募集について

### 1) 募集対象

看護職が勤務している医療機関・介護保険施設等において、直近3年以内に看護業務の効率化において優れた成果・効果をあげている取組みや、それにより医療・看護サービスの充実を実現した取組みを、広く募集する。

なお、募集にあたっては以下の医療機関・介護保険施設等も対象に含める

#### (1) 2019・2020年度の同事業に応募した医療機関・介護保険施設等

- ① 同テーマで継続して取組み、さらなる成果・効果を上げている
- ② 新規テーマに取り組んで成果・効果を上げている

#### (2) 2020年度「看護業務の効率化試行支援事業」に参加した医療機関・介護保険施設等

### 2) 集期間

2021年6月1日(火)～7月31日(土) ※当日消印有効

### 3) 募集単位

施設もしくは部署(病棟)単位による応募が可能。

### 4) 応募の条件

- (1) 本事業への応募について、施設代表者および看護部門責任者(もしくはその職位に相当する方)の了承を得ていること
- (2) 次年度以降、看護業務の効率化試行支援事業について、支援者として他の施設・事業所に対して協力が可能であること

## 3. 募集内容

看護業務効率化の取組みについて、「医療安全が損なわれていない、かつ先進的・先駆的であること」を前提とした以下の内容で募集する。

### 1) 業務改善(部署内、事業所内で業務改善に貢献した取組み)

例)「看護記録の内容の標準化およびリアルタイムでの記録」により、時間外勤務の削減と退院支援カンファレンス開催回数の増加

## 2) タスクシフト・多職種連携<sup>※</sup>

※タスクシフト：他の人（職種）に業務を委譲（移譲）、移管すること

多職種連携：共有された目的に向けて多職種と一緒に働くこと

例) 病棟薬剤師との役割委譲・協働により、看護師の時間外勤務の削減

## 3) AI・ICT等の技術の活用（施設、事業所全体での導入で、効率化に寄与した取り組み）

例) 記録業務で音声入力機能を活用したことで、看護師および看護管理者の時間外勤務の減少とカンファレンスの機会が増加

## 4) その他の工夫

例) 看護クラークの一元管理により、看護師の時間外勤務減少と看護師が患者のケアやアセスメントに割ける時間が増加

# 4. 選考について

## 1) 選考の観点

看護業務効率化の取り組み内容について、応募申込書をもとに以下の観点で選考する。

- 業務量の減少・削減
- 1つの業務に要する時間の短縮
- 有給休暇取得状況の改善
- 時間外業務時間の削減
- 費用の削減（時間外勤務削減により人件費が削減した、物品購入などのランニングコストが削減した等の費用の削減を指す）
- 看護職員の身体的、精神的負担の軽減
- 「もたらされた効果」の価値の大きさ

## 2) 選考委員会

学識者等で構成する以下の委員会等において厳正かつ公正に選考を行う。

「看護業務の効率化・生産性向上のための支援策検討委員会」委員（50音順、敬称略）

尾形裕也 九州大学 名誉教授

釜菴 敏 公益社団法人日本医師会 常任理事

神野厚美 社会医療法人財団董仙会 常務理事

小坂晶巳 社会医療法人財団慈泉会 相澤病院 副院長・看護部長

園田孝志 一般社団法人日本病院会 常任理事

任 和子 京都大学大学院 医学研究科人間健康科学系専攻先端中核看護科学講座 教授

福島通子 塩原公認会計士事務所 特定社会保険労務士

松田美紀子 慶應義塾大学病院 事務局長

山本恭子 公益社団法人広島県看護協会 会長

山元恵子 公益社団法人東京都看護協会 会長

横田慎一郎 東京大学医学部 講師、東京大学医学部附属病院 企画情報運営部副部長・病歴管理部副部長

### 3) 選考期間

2021年8月～9月

### 4) 選考結果通

2021年10月中旬以降

※採否のお問い合わせにはお答えできません。

## 5. 表彰・周知について

### 1) 表彰式・報告会について

2021年12月に都内で表彰式・報告会を行い、受賞施設に表彰状と記念品を授与する。また、表彰式とあわせて受賞施設には取り組みについて報告を依頼する予定。詳細が決まり次第、受賞施設には別途依頼の連絡を行う。また、新型コロナウイルス等の感染状況などを鑑み、開催方法などを変更がする可能性がある。

### 2) 周知について

受賞施設には、後日、取り組み内容を取材し、動画および事例集に収録し、「看護業務効率化先進事例収集・周知事業ポータルサイト」に掲載する。また、厚生労働省および日本看護協会の公式ウェブサイトからもリンクさせ、広く事例を紹介する予定。表彰の種類と対象は以下のとおり。

賞名	対象
最優秀賞	先進的・先駆的な観点から、最も優れた業務効率化を実現した取り組み
優秀賞	各部門において、優れた業務効率化の取り組み ①業務改善部門、②タスクシフト・多職種連携部門 ③AI・ICT等の技術の活用部門 ④その他の工夫部門
奨励賞	部門を問わず、さらなる努力により今後の成果・効果が期待される取り組み
特別賞	部門を問わず、独創的かつユニークな取り組み

## 6. 応募について

### 1) 応募方法

応募申込書を日本看護協会公式ウェブサイト (<https://www.nurse.or.jp/>) よりダウンロードし、必要事項をご記入の上、郵送または電子メールにて事務局までご送付ください。

※受領後、1週間以内に受領のご連絡をします。受領連絡がない場合は、お手数ですが以下の事務局までお問い合わせください。

※選考に際し、ご提出いただいた資料へのお問い合わせや追加資料のご提出をお願いする場合もございますのであらかじめご了承ください。

※ご提出いただく応募書類は、公益社団法人 日本看護協会の個人情報保護方針に基づいて管理します。

## 2) 郵送の場合

以下の送り先へ応募締め切り（2021年7月31日）までにお送りください（当日消印有効）。封筒の宛名面に「看護業務の効率化 先進事例アワード2021」申請書類在中と朱書きしてください。

### 【郵送先住所】

〒150-0001

東京都渋谷区神宮前 5-8-2 公益社団法人日本看護協会 労働政策部看護労働課

## 3) Eメールの場合

以下の送り先へ応募締め切り（2021年7月31日）までにお送りください。メールの件名は「看護業務の効率化 先進事例アワード2021\_申請」としてください。

### 【送付先メールアドレス】

kangorodo@nurse.or.jp

## 7. 問い合わせ先

### 【事務局】

公益社団法人日本看護協会 労働政策部看護労働課

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-8-2

TEL : 03 (5778) 8553、FAX : 03 (5778) 5602

URL : <https://www.nurse.or.jp/> E-mail : kangorodo@nurse.or.jp



生きるを、ともに、つくる。

公益社団法人 日本看護協会



看護の力で健康な社会を！